

平成29年度 第1回 芦屋市<sup>打出</sup>財産区共有財産管理委員会 会議録

日 時	平成29年5月30日（火）午前10時～12時
場 所	芦屋市役所 北館4階 教育委員会室
委員出席者	極楽地太一委員，細谷昌巳委員，阪口忠之委員，宮本政秀委員， 助野勇委員，樋口勝紀委員，馬場光平委員，天王寺谷昭博委員， 天王寺谷充康委員，山村太良委員，矢島孝郎委員
委員欠席者	朝比奈皓委員，杉本正義委員，松本勝治委員，松本忠彦委員
市側出席者 事務局	山中市長， 山口総務部長，用地管財課・柿原課長，北詰係長
会議の公開	公開
傍聴者数	0人

## 1 会議次第

- (1) 挨拶
- (2) 委嘱式
- (3) 平成29年度打出芦屋財産区会計予算について
- (4) 奥山1番22（関西電力所有地）の無償譲渡について
- (5) その他

## 2 審議内容

事務局 それでは、委員会に先立ちまして、この度新たに委員となりました矢島孝郎委員の委嘱式を行います。

—委嘱状交付—

委嘱式が終了しましたので、委員長，議事進行をお願いします。

—細谷委員長あいさつ—

事務局 ありがとうございます。

それでは、財産区管理者であります山中市長より、一言ご挨拶を申し上げます。

山中市長 —山中市長あいさつ—

事務局 ありがとうございます。

続きまして、新たに委員となりました矢島委員より、ご挨拶をお願いいたします。

矢島委員 —矢島委員あいさつ—

事務局 ありがとうございます。

この度、事務局係長の異動がありましたので、紹介をさせていただきたいと思っております。

—北詰係長あいさつ—

細谷委員長 議事に入ります前に、委員出席者を確認します。  
本日は、委員15名中11名の出席がありますので、本委員会は成立しております。  
議事録署名委員は、慣例によりまして、樋口勝紀委員と天王寺谷昭博委員にお願いいたします。  
次に審議事項、平成29年度打出芦屋財産区会計予算につきまして事務局より説明をお願いします。

事務局 —予算説明—

細谷委員長 ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

細谷委員長 行政視察について、議会で質問をされたのですか。

事務局 行政視察の成果等について聞かれました。  
昨年度は福岡県久留米市に行政視察へ行き、久留米市の財産区は元々合併前に3つの財産区だったのが1つになったという話がありました。本市も打出芦屋財産区は土地貸付収入で運営できていますが、三条津知財産区の人数がかなり減ってきています。  
三条津知財産区は神戸市との共有で芦屋市持分が9分の2であるため、土地貸付がありますが、収入として入ってくるのは、9分の2で、積立金を取崩しながら運営している状況です。積立金がなくなった際に、財産区としてどうなるかという課題もあります。  
例えば、三条津知打出芦屋の財産区4つの財産区を合併する等の話も今後は課題として出てくるのかなと思いますが、そういった部分で行政視察は参考になったと答弁いたしました。

天王寺谷委員 歳出1,500,000円の山車の補助金は、どちらの団体の補助金ですか。

事務局 打出芦屋財産区内の5団体分です。

樋口委員 先程の行政視察のことですが、財産区合併の話も参考になったということですが、山の木を利用しているということは、芦屋にはあてはまらないのでしょうか。

事務局 視察先の財産区が植林した木は、エリア・樹の種類も同じような樹の種類で、酸素の吸収・排出量などが一定で計算しやすくなっています。芦屋の山の場合は、六甲山をみなさんで植林していますが、樹の種類が多いので、その量をどこまで正確に出せるかが課が題になっています。植林し人が入りやすい山が一番適していると思います。山の形状が六甲山とは少し違うのだと思います。

樋口委員 久留米市財産区の方のお話の中で、山の環境を良くして自分の子どもたちに残してあげたいという話がありました。正に財産区のすべきことではないでしょうか。こちら

が整備をすれば、そのような方向性も出せるのではないのでしょうか。

事務局 今後研究させていただきます。

助野委員 先程の三条津知財産区の件について、仮に打出芦屋財産区と一緒にするというケースは考えられるのでしょうか。

事務局 三条津知財産区も、悩まれている状況です。積立金を取崩しながら運営していかなければならないというのは理解されていますので、積立金がなくなった場合に、どうするかということは今後の課題となっております。

助野委員 芦屋市としては、どう方向性でお考えですか。

事務局 すぐにどうなる話ではありませんので、地元の方々と協議しながら考えていくことになると思います。

助野委員 三条津知財産区においては、地車の補助金を支出するのもしんどい状況にあるのではないかと考えています。そういうことも含めて将来的にどうするのでしょうか。六甲山に9分の2しか権利を持っておらず、財産収入は他にはない状況で、我々の財産区と将来一緒になるのかどうか。その辺り、市として、どのような考えをお持ちなのでしょうか。

山中市長 将来的には、そういうことがあるかもしれませんが。やはりそれぞれの財産区委員会のご意志を尊重したいと思っております。

細谷委員長 報告事項（1）平成29年度財産区会計予算について、報告を確認しました。次に審議事項、奥山1番22、関西電力所有地の譲受について事務局説明願います。

事務局 ー譲受について説明ー

細谷委員長 ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

天王寺谷委員 先程の説明、奥山1番22の土地を上下水道部が使用しているのであれば、契約を結んだ方がよいのではないのでしょうか。

事務局 上下水道部が使用している場所については、契約を締結して、使用料を徴収することになっています。この周りの前処理施設等も含めて、現在も上下水道部に貸付をしています。

助野委員 昔、阪神電車が電気部門を所有していた施設ということですね。

事務局 はい。その後、関電が引継いで、戦後に取り壊しました。

細谷委員長 報告事項（2）奥山1番22 171.90 m<sup>2</sup>の土地が新たに財産区共有地になったとう  
ことで確認しました。

次に審議事項、その他、何かございませんでしょうか。

事務局 事務局としては、ございません。

細谷委員長 他に何かご意見ございますか。

細谷委員長 無いようですので、以上をもちまして、財産区管理委員会を終了したいと思います。